

開湯150年を祝う鬼花火

～鬼火が誘う地獄の谷～

6月1日(日)、登別温泉地獄谷展望台で『地獄の谷の鬼花火』のオープニングイベントが開催されました。

この催しは、登別観光協会と市が、観光客誘致のための長期イベントとして開催しているもので、昨年は、約3万5,000人が訪れました。今年で3年目を迎え、登別温泉の恒例行事となっています。

オープニングセレモニーでは、観光協会の南副会長が開幕を宣言し、たいまつに点火しました。その後、湯の守り神『湯鬼神』が登場し、地獄谷展望台に設置された舞台で、ドラや太鼓の音に合わせて無病息災を願う力強い舞を披露。最後に遊歩道の階段に並び、手に抱えた筒型花火から火柱が上がると、大勢の見物客から拍手や歓声が上がっていました。

また、『鬼火の路、幻想と神秘の谷』では、遊歩道に足元を照らすライトを設置し、昼間とは違った幻想的な地獄谷が、訪れた方を楽しませています。

『地獄の谷の鬼花火』は、8月23日(土)までの毎週金・土曜日の20時30分から、『鬼火の路、幻想と神秘の谷』は11月30日(日)までの毎日、19時30分から22時まで行われます。なお、このイベントは天候などにより中止する場合があります。



水遊びって楽しいな



～子育て講座『水とあそぼう』～

5月26日(月)、市民プールで子育て講座『水とあそぼう』(市主催)が行われ、参加した子どもたちは水遊びを楽しみました。

この講座は、市が2・3歳の子どもとその保護者を対象に、親子で水遊びを楽しみ、子育ての輪や友だちの輪を広げてもらおうと開催したもので、30組63人が参加しました。

子どもたちは、最初にトレーニングルームでボール遊びをして体をほぐし、水深20cmに調整されたプールに移動して、輪投げや水に浮くおもちゃで遊んだり、ビート板を使って上手に泳いだりしていました。

市民プールでの同講座は、9月にも開催を予定しています。

地獄谷周辺の魅力を発見

5月31日(土)、登別温泉地獄谷周辺で『温泉散策ウォーキング』(文化・スポーツ振興財団主催)が行われ、17人が参加しました。

この催しは、開湯150年を迎えた登別温泉の歴史と自然を学びながら、ウォーキングを楽しんでもらおうと、初めて開催されました。

登別市観光ボランティアガイド会の3人が講師を務め、地獄谷展望台をスタートして、日和山大沼展望台や大湯沼、大正地獄、大湯沼川天然足湯などを巡り、約1時間30分を散策。途中で、疲れた足を大湯沼川天然足湯で癒やし、森林浴を楽しんでいました。

参加者は、「地元でもなかなか来ないので、いい経験でした」と楽しそうに話してくれました。

～温泉散策ウォーキング～

